

第37回 北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会 参加細則

1 全般的事項

- ① 試合進行はできるだけタイムテーブルにそって進めるが、時間短縮のため流し込み方式で進める。時間・コートの変更がありえるので放送に注意すること。
- ② 試合が連続する場合は、前の試合の後、10分間を確保して次の試合を開始する。
- ③ 入場について、団体戦及び個人戦ともに、番号の若い方(プログラムで上に記載されている方)が主審の左側に入ること。
- ④ 競技の服装は審査合格品とする。また、北海道中学校バドミントン大会(中体連全道大会)に準じて、その大会要項に掲載されているゼッケンをつけ、四隅を留めることとする(背面表示がある上衣は、ゼッケンで全て覆い隠すこと)。なお、ウェアからはみ出すタイプのインナー等についても審査合格品とする。
- ⑤ ウェア(上衣)の裾は、マナーとして下衣に入れること(特に入退場や挨拶時、インターバル時)。
- ⑥ 試合中の水分補給は、基本的に主審が汗ふきタイムを認めたときに、試合進行に影響が出ないように素早く済ませること。ただし、飲み物はスクイズボトルに入れること。
- ⑦ 指定のカゴに入れて良い物は、交換用ラケット(ケースから出しておく)、タオル、スクイズボトル、滑り止めのみ。その他の物はベンチ、または、コーチングシートで保管すること。氷のうは、保冷バッグに入れてベンチ、または、コーチングシートで保管すること(カゴには入れない)。
- ⑧ フロア内での飲食や、ハードタイプのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。
- ⑨ 審判員の判定に対して疑問があるときは、個人戦の場合は当該プレーヤー、団体戦の場合は当該プレーヤー、または監督が質問できる。(大会運営規程第6章第36条)
- ⑩ 原則として試合に負けたチームの監督、外部指導者(コーチ)、マネージャー(教員)が主審をすることになるので、試合終了後、直ちに本部席で次の試合の審判用紙等を受け取る。線審・得点係は主管地区協会が担当します。
- ⑪ フラッシュや、ライトを点灯させての撮影、および、競技フロア内での撮影は禁止します。
- ⑫ 「競技役員長(レフェリー)から競技審判上の確認と連絡」のページを熟読すること。

2 団体戦に関する事項

- ① 監督は当該学校の校長・教員であること。団体戦における外部指導者(コーチ)は、当該学校の校長が認めた者とする。マネージャーは当該学校の教員または生徒とする。
- ② ベンチに入れるのは、登録された監督・外部指導者(コーチ)またはマネージャー・選手とし、必ずIDを付けることとする。また、コーチングシートに入れるのは監督と、コーチまたはマネージャーのどちらか1名とする。
- ③ オーダー用紙の交換は、対戦相手が決まり次第、放送にて案内します。
- ④ 試合のコールがされたら直接コートに集合し、主審が来てから挨拶、マッチ前練習(2分間)、試合の順で行う。個人戦の練習は、試合がコールされてから主審が来るまでの間とする。
- ⑤ マッチ前練習について、練習コートは番号の若い方のコートでトーナメント表の上のチームが、残りのコートで他方のチームが練習をし、その後、第1複と単の試合を行う。なお、先に終わったコートで第2複の試合を行う。1コートで団体戦を行う場合は、トーナメント表の上のチームが先に2分間の練習を行い、続いて他方のチームが行う。いずれも主審の合図で2分間ずつ行うこととするが、双方とも必ず練習を行うものとする。
- ⑥ 2コートを同時に使用しての並行試合を行う。試合の勝敗は、第1複・単・第2複のうち、いずれか2ポイントを先取したチームの勝ちとする。また、進行の関係で3コート同時に進行することがある。この場合は、できる限り監督に確認の上で実施する。また、どちらかのチームが初戦の場合は第2複まで行い、それ以降は勝敗決定(2マッチ先取)後、打ち切りとする。

3 個人戦に関する事項

- ① コーチングシートに入れるのは、監督、マネージャー、外部指導者(コーチ)、並びに団体戦に登録されている選手のうち2名以内とし、必ずIDを付ける。また、インターバル時にサイドコーチができるのも、そのうち2名以内とする(団体戦も同様)。
- ② 単の場合、練習相手として1名入場できるが、練習終了後、直ちに退場しなければならない。複はパートナー同士での練習とする。

全日本中学生バドミントン選手権大会 選手選考基準

北海道バドミントン協会
強化委員会 中学部

1. 選手人数

南北海道：男子4名・女子4名

北北海道：男子4名・女子4名

※競技方法は2単2複1混合（男子単－女子単－男子複－女子複－混合）の団体戦で、男女単複は兼ねられない。

2. 選考基準

選手選考順位	該当選手
1	全道新人S 1位・2位 全道新人D 1位
2	全道新人S ベスト4以上
3	全道新人S ベスト8以上 全道新人D ベスト4以上
4	強化委員会で検討・審議

S = シングルス D = ダブルス

3. その他

- ・上記選考基準を基本とするが、該当者が超過または不足した場合や選手強化委員会が必要であると判断した場合、選考会を実施する。その際、シングルス2名とダブルス1組でチームを構成していくことを考え、選考方法を決定していく。
- ・選考会を行う場合、選考方法、日時、会場などは選手強化委員会にて決定する。
(※南北別会場で1月中旬～下旬までに行う予定)
- ・怪我等により急遽参加できなくなった場合、選手強化委員会で協議のうえ、選手を決定する。